

11月はロータリー財団月間です
THE WEEKLY REPORT

RI 第 2820 地区

水海道ロータリークラブ

2010-2011年度 テーマ

見つめなおそう ロータリーの心
つくろう 新たな未来を



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011 年度 RI会長
レイ・クリンギンスミス

次回例会予定 12月1日 年次総会
12月8日 前期委員会報告

VOL. 48 No. 18 (通算No. 2259)

2010年11月17日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話 雨谷 道夫会員



「菊の花」

写真提供:秋田政夫会員

2010-2011年度

会長 白井

豊

幹事 大塚 令昌

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

11月はロータリー財団月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.48 No.17(No.2258) 11月17日(水)曇り (司会 北村陽太郎委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆外部卓話 パストガバナー 清水 清様

ビ ジ タ ー

パストガバナー 清水 清様(日立ロータリークラブ)

誕 生 祝



《会員》草間春正会員 青木正弘会員

諸 報 告

親睦活動委員会 古矢 満委員長

12月17日(金)家族親睦忘年会の出欠表を回しますので、ご記入の程宜しくお願いします。

幹事報告 大塚令昌幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 牛久RC 11月29日(月)休会

11月15日(月)、谷和原地区のグランドゴルフが開催されました。参加者は180名、クラブよりは白井会長、大塚幹事、秋田会員の出席の中無事終了しました。

会長挨拶 白井 豊会長



御挨拶致します。

パストガバナーの清水 清さん当クラブにお出で頂き有難うございます。会員一同歓迎申し上げます。ロータリー財団月間に因んでの卓話宜しくお願い致します。

昨日は12月中旬の気温だったようで、今日も陽が出ない分、めっきり寒くなりました。しかし寒い中でも若い人たちの活躍のニュースは気持ちを明るくしてくれます。

“スーパー16才”といわれる1人はフィギュアスケートの村上佳菜子選手。今シーズンジュニアからシニアに移り、日本大会で3位、先月のアメリカ大会で優勝し、日本女子選手の中で1番先にグランプリファイナル出場を決めました。あの笑顔には誰でも思わず微笑んでしまうのではないのでしょうか。

1 1月はロータリー財団月間です

THE WEEKLY REPORT

もう1人の“スーパー16才”は通信制高校生で市民講座で勉強し、1回で国家試験の最難関といわれる公認会計士試験に最年少記録で合格した16才です。2人とも日々の努力を重ねた結果だと思いますが、本当に心から拍手を送りたいと思います。

驚いたのは、63連勝を続けていた白鵬が牛久市出身の稀勢の里に敗れ、連勝がストップしたことです。皆さんの中にも大勢相撲ファンがおられると思いますが、このニュースにはびっくりしたり、がっかりしたり、そして少しホッとしたり…というところでしょうか。改めて3年間負け知らずで、69連勝を成し遂げた双葉山の偉大さを感じます。双葉山は、若い時から右眼の視力がほとんどないというハンデを持ちながら、如何にしたら体全体で相手の気配を感じるか、という稽古を積み、立ち合い「後の先」を地で行き、相手より一瞬遅れて立つように見えながら、先手を取り、勝ち星を重ねていったということです。

「稽古は本場所のごとく、本場所は稽古のごとく」

「われ未だ木鶏たりえず」

「一日に10分間だけ精神を集中させることは誰にでもできるはずだ」

など、名言も多く、力士としての強さだけではなくハンデがありながら努力を重ねる人間としての強さには我々も励まされます。

最後になりましたが、常陽銀行門脇支店長、書庫の寄贈ありがとうございます。有効に利用させていただきます。挨拶を終わります。ありがとうございました。

外部卓話 2013年度の新補助金制度と補助金の活用を！ パストガバナー 清水 清様



現在、新補助金制度を導入するための検証活動としてパイロット地区による新制度の問題点を抽出するための活動が行われています。第一ゾーンでは2地区が代表としてパイロット地区に選ばれています。新たに導入される補助金制度においても基本的に変わらない条件として補助金活用対象の大半が人道的観点でのロータリー奉仕活動に補助金を使用できることです。

また、現在活用されている地区補助金でも同じことです。本日はロータリー財団の数多いプログラムの中で特に、補助金に焦点を絞りお話したく存じます。

1. 補助金を使用するプロジェクトの準備

- (1) 現在、地区補助金使用のプロジェクトは、その年度内で計画・申請し、実施をしていますが、新補助金制度では、計画年度と実施年度の2年間に分けられています。従って、現年度と次年度の連携が出来なければ補助金を使用してのプロジェクトが成り立ちません。要するに、地区・クラブの中期計画が必要になると理解することです。

- (2) 「ほとんどの手続きがオンライン処理となります」

現在は、申請書類は郵送またはメール添付で行われていますが、参加資格取得審査その他に要する時間がかかることが問題で短時間で処理できるようにするための措置としてオンライン方式が条件になりました。資格取得の申請には補助金の資金管理要件の覚え書きに同意する書類を添付することが義務付けられています。資金管理は地区の重要な仕事になり地区の役割が大きくなります。また、財団に申請する書類は全て英文が基本です。この点についても地区・クラブの体制が問われることになるでしょう。

- (3) グローバル補助金の申請

申請に先立ち、活動計画と目的を簡潔に説明した提案書を提出する2段階プロセスとなっています。また、10万ドル以上のWFを要する場合には財団管理委員会の審査を受けることが義務付けられています。

1 1月はロータリー財団月間です

THE WEEKLY REPORT

2. 補助金の種類

(1) 補助金は従来同様、地区活動資金(DDF)と国際活動資金(WF)に分かれて運用されますが、その比率は50%対50%です。新地区補助金は更に新地区補助金とグローバル補助金に分けられます。新地区補助金(日本円で使用可能)はDDFの50%まで使用することができます。申請可能な件数は年に2口までが認められ、国内又はロータリーの無い(ロータリーが存在していても力のない地域も含まれます)海外においても活用できます。

(2) 補助金対象のプロジェクト

人道的プロジェクト、奉仕プロジェクト、奨学金「学位レベルや専攻分野の制約なし、高校生の授業料や教科書・教材の購入にも使用可能ですが高校生の留学には使用できない。大学レベルの学生の留学には6重点分野に関連した学生についてのみ地区のDDFがグローバル補助金として使用可能対象になる。また、一般留学の場合は新地区補助金が充てられます。但し、学生の面倒をみるスポンサークラブや地区の決定を外国に求めることも自分の地区が責任持って行う必要があります。奨学生の選定には学生自身希望する大学の入学許可証があることが奨学金支給の条件になるので確認を怠らないこと。」、職業研修チーム(VTT)の派遣支援「従来のGSEを含む派遣先の選定、交渉は自分の地区で責任を持ち決めること、また、派遣者の年齢制限はなくなるが職業従事年数は2年間以上あることが条件GSEは交換する条件は廃止され、受け入れの了解が条件になる。費用は自分持ち、相手地区も同様になる。派遣は同年度内とすることが認可の条件です。GSEの場合は現在、航空券支給のみであるのに対し詳細予算書を提出することで滞在費や研修費も認可の対象になる。」、災害救援プロジェクト等の比較的小規模プロジェクトが主な対象となります。

また、グローバル補助金は、地区が立案したグローバル補助金とパッケージ・補助金(Grant)の2つからなり、6重点分野に関連した影響力のある持続可能な大きなプロジェクトに使用できます。6重点分野とは、平和と紛争予防・紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域的社会的発展などで予算規模は3万ドル以上(DDF1万5千ドル+WF1万5千ドル)現行のマッチングGrantと同様な制度です。

(3) 国内での補助金活用上の留意事項

日本国内での地区補助金使用について、人道上の奉仕プロジェクトとしての理解度に徹底を欠く点があります。日本のような先進国では認可対象にならないものに一般的な識字向上に関するものや、鮭の放流、陶芸体験、蛍の育成、一般的な案内板の贈呈、スポーツクラブへのチーム旗や優勝旗寄贈、建物の建設設置、時計台の贈呈などを人道的奉仕プロジェクトとして勘違いされておられる方が目立ちます。国内での人道的奉仕とは、身障者や高齢者や外国人を対象にした奉仕プロジェクトを取り上げていただきたい。過去に、実施されたプロジェクトで財団本部に提出した報告書の纏めに苦慮した例が多々あります。計画前に地区の補助金委員会にご相談されることを望みます。カルタ大会などの例は、報告書の作成を在日外国人の日本語理解支援のためとか、また、外国人との交流プロジェクトなどでは外国人に日本の風習習得のためとか書き直していただきました。幼稚園児のタイル製作体験では、身障者にも参加してもらい身障者への職業訓練・習得プロジェクトとして実施いただいたことがあります。頑なに鮭の放流を毎年計画されているクラブについては、河川の緑化とか河川の浄化運動とかの形で提案するよう変更依頼をしています。地区の纏め者のご苦勞にもご理解くださればありがたいと感じております。

3. 地区活動資金(DDF)の運用で留意すること

現在、DDFは年度内に使用されなかった残額は、翌年に繰り越される制度になっていますが、新地区補助金として認可された補助金の残額は翌年に繰り越されるが残りのDDFは世界活動

11月はロータリー財団月間です

THE WEEKLY REPORT

資金(WF)に編入されてしまいます。資金の活用管理が従来以上に重要になります。自分で得た資金を全て消化するよう努めることが求められるでしょう。それには、地区もクラブも一体になったの中期・長計画を持つ必要が欠くことに出来ない条件になると考えます。

ロータリーの奉仕活動は、その年度の方針に基づいて運営されておりますが実り多い影響力のある奉仕プロジェクトの発掘と開発には中長期的な地区方針並びにクラブ方針を中長期計画として持つことが肝要であると考えます。今日RIがクラブの中長期計画を推奨することの目的はクラブの強化、育成を図ることと併せてこの点にあるのです。クラブ会長、会長エレクト及び会長ノニーが連携してクラブの充実・発展に努めることがこれからのロータリーには必要です。ロータリーには奉仕活動を通して感動を味わうことを望みます。

出席報告 (古谷榮一委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	38名	19名	0名	19名	100.00%

ニコニコボックス 北村英明委員長

入金計 ¥50,000 累計 ¥995,000

誕生祝御礼《会員》草間・青木(正) 各会員

清水パストガバナー、ようこそいらっしゃいました。歓迎致します。 白井会員

清水パストガバナーようこそ。 大塚・熊谷・五木田(裕) 各会員

寒くなりました。皆さん、お元気ですか？ 青木(正)会員

清水パストガバナー、本日は遠路ありがとうございます。 秋田会員

清水パストガバナー、本日宜しく願います。 染谷(秀)会員

清水パスト、卓話宜しく。 瀬戸会員

水海道一高同窓会ゴルフにて、優勝することが出来ました。 古谷会員

一昨日、ゴルフコンペに参加しました。180名中、3位に入賞しました。ネットは65、グロスは忘れまして。

武藤会員

本日も無事出席出来ました。 山野井会員

その他 横山会員

常陽銀行さんの心遣いで、キャビネットを用意頂きSAAの隣がスッキリしました。門脇支店長ありがとうございます。 北村(英)会員

早退します。 五木田(利)会員

例会欠席しました。 草間・二本松・門脇 各会員

会報委員会 秋田政夫委員長 石塚利明副委員長 穂戸田好範委員 石塚幸一郎委員



11月はロータリー財団月間です THE WEEKLY REPORT

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

1961年、私はロータリーの親善奨学生としてケープタウン大学で学んでいました。その地で暮らした期間に、南アフリカはもちろん、現在、ジンバブエ、ザンビア、ナミビアとなっている国々へ、16,000マイル(約2,600km)の旅をしました。35のロータリークラブを訪ね、数え切れないほどのロータリアンに会い、私は南部アフリカの豊かな文化に夢中になりました。

奨学生としての経験をアフリカのために

初めて訪れたとき、私はアフリカの伝統や人々の生活における挑戦に関して真価を認めるようになり、この地と人々に対する私の敬意と賞賛の気持ちが、ロータリアンとなってからも幾度となく私をアフリカに呼び戻しました。そして今、これは驚くべきことですが、私のロータリー奨学生としての経験をアフリカにおけるロータリーの役割強化のために使うという特別の機会をもつことになったのです！

本年度は「アフリカ支援委員会(ROTA=Reach Out to Africa)」が始まって4年になります。そして今年度のROTA委員会は、より早く効率的に目標を達成するために手際よく活動しています。私たちはアフリカのロータリアンの数を増やす必要があります！また、私はアフリカに対する国際奉仕プロジェクト、特にロータリー財団の支援を得たプロジェクトの実質的な増加を期待しています。ROTA委員会はすばらしいウェブサイトをもっていますので、皆さんがwww.reachouttoafrica.orgを開いてご覧になることをお勧めします。

ロータリー財団の産物であることを誇りに思う

私は今年度、ロータリアンたちが気軽にアフリカを訪れ、彼らの国際奉仕プロジェクト参加を増やすための二つの奉仕活動を導入しました。一つは「Ray's Rotary Reunions(レイのロータリー同窓会)」で2月3~5日にケープタウンで開かれます。一人でも多くのロータリアンがこのイベントのために、最も汚れなき岬にあるケープタウンに集まってくださることを期待しています。もう一つは、「Rotary Project Safaris(ロータリー・プロジェクト・サファリ)」です。貧困が広がり、地元のロータリアンたちが財政援助を必要とする数多くの有益なプロジェクトを開発している地域に、ロータリアンたちの訪問を容易にする奉仕活動です。この二つの催しに関するより詳しい情報は「RI会長のページ」www.rotary.org/presidentに出ています。ご質問があればelsa.sanabria@rotary.orgにご連絡ください。

私は、自分がロータリー財団の産物であることに誇りをもっています。そして、もし私がアフリカにおけるロータリー強化の懸け橋役を務めることができるなら、それはRI会長としてのもっとも意義のある業績となるでしょう！「レイのロータリー同窓会」と「ロータリー・プロジェクト・サファリ」に参集ください。アフリカのロータリーを「より大きく、豊かで、大胆に」するために、そしてアフリカのロータリー財団奨学生の輪をつくり上げるため、私に力を貸してください。

RAY KLINGINSMITH
PRESIDENT, ROTARY
INTERNATIONAL